

参考資料 空から見る復興 (宮城県)

航空写真撮影地点



空から見る復興① 気仙沼市 鹿折地区



鹿折ふれあいセンター
2018年11月開館。
地域コミュニティと生涯学習の拠点。鹿折公民館を移転。

災害公営住宅（鹿折南住宅）
2016年7月完成。284戸。
市民福祉センター やすらぎ
2017年4月開所。
社会福祉を目的とする市民の相互交流を図る施設。

復興祈念公園
2021年3月開園。
追悼と鎮魂の場、防災への思いを新たにする場、地域の復興を実感する場として公園を整備。



土地区画整理（魚町・南町地区）
2021年度完成予定。11ha。
高さT.P.2.8m～3.1mまでかさ上げ。

災害公営住宅（魚町入沢住宅）
2017年2月完成。59戸。
災害公営住宅（魚町二丁目）
2016年8月完成。15戸。

防災集団移転（鹿折北地区）
2016年8月完成。52戸。

土地区画整理（鹿折地区）
2019年9月完成。42ha。
住居系は高さT.P.3.0m～、商業・工業地は高さT.P.1.8m～までかさ上げ。

水産加工施設集積地（鹿折地区）
2016年3月整備完了。11ha。
立地予定事業者22社（内21社稼働中）

防災集団移転（浪板一区地区）
2016年5月完成。17戸。

三陸沿岸道路（気仙沼港IC-唐桑半島IC）
2021年3月開通。

県道大島浪板線
2019年4月 5.5km供用開始。
2019年12月 0.6km供用開始。
2020年10月 1.0km供用開始。
2020年12月 0.2km供用開始。
2021年3月末 0.8km完成予定。

内湾地区海上遊歩道
2020年5月完成。
海上遊歩道の整備により浮見堂が復旧。三代目恵比寿像も寄付により再建され、気仙沼湾のシンボルが復活。



防潮堤（大浦、浪板）
2021年度完成予定。
高さT.P.5.0m、延長1,100m。

防潮堤（内湾）
2021年度完成予定。
高さT.P.5.1m、延長670m。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション図は、自治体HPから引用又は自治体から提供

空から見る復興②

気仙沼市 南気仙沼・赤岩港地区





2016年4月撮影

シャークミュージアム

2014年4月リニューアル。国内唯一の「サメ博物館」。「震災復興ミュージアム」としての顔も持つ。(※)

新魚市場C・D棟

2019年2月完成。閉鎖型荷捌所や低温売場等を備えた高度衛生管理対応型市場。見学スペースや水産情報発信施設、クッキングスタジオを併設。

三陸沿岸道路(気仙沼港IC-唐桑半島IC)

2021年3月開通。気仙沼湾横断部は東北一の斜張橋となる。

土地区画整理(南気仙沼地区)

2020年6月完了。33ha。住居系は高さT.P.3.5m～、商業・工業地は高さT.P.1.8m～までかさ上げ。

水産加工施設集積地(南気仙沼地区)

2016年3月整備完了。18ha。立地予定事業者54社(内44社稼働中)。

(株)みらい造船

2019年6月施設完成。被災した市内の造船4会社が合併。国内3例目となるシップリフト式による上架施設を整備。(※※)



災害公営住宅(幸町住宅)

2016年3月完成。176戸。

防潮堤(朝日町)

2018年度完成。高さT.P.7.2m、延長1,600m。

燃油施設

2019年6月完成。入港漁船に安定した燃油供給を行う目的で整備。



災害公営住宅(内の脇住宅)

2016年8月完成。144戸。

南気仙沼復興市民広場

2021年度完成予定。5.2ha。憩い、競技・スポーツ、運動など多目的利用が可能な広場。

BRT(赤岩港駅)

2020年3月赤岩港駅が新設され、松岩-不動の沢間の専用道3.8kmが開通。

三陸沿岸道路(気仙沼中央IC-気仙沼港IC)

2020年2月供用開始。仙台市から約1時間30分。

防災公園(南気仙沼地区)

2021年度完成予定。2ha。平時は公園、津波襲来時の一時避難地として避難築山を整備。

水産加工施設集積地(赤岩港地区)

2016年11月整備完了。20ha。立地予定事業者12社(うち10社稼働中)。三陸道気仙沼港ICと直結。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真・図は、※は気仙沼観光推進機構HPから、※※はみらい造船HPから引用。その他は復興庁撮影

空から見る復興③ 気仙沼市 舞根・浦(唐桑)地区



空から見る復興④ 気仙沼市 階上地区



2011年3月撮影

2011/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

空から見る復興④

気仙沼市

階上地区



2016年4月撮影

三陸沿岸道路（大谷海岸IC-気仙沼中央IC）
2018年3月供用開始。仙台市から約1時間20分。
岩井崎IC
2018年3月供用開始。

防潮堤（沖ノ田海岸）
2020年11月完成。
高さT.P.9.8m、延長390m。

防潮堤（御伊勢浜海岸）
2020年11月完成。
高さT.P.9.8m、延長520m。

防潮堤（岩井崎海岸）
2021年2月完成。
高さT.P.9.8m、延長約1,170m。

岩井崎
潮吹岩で知られる市内有数の景勝地。
龍の松
津波の後に1本だけ残った松が、天に昇る龍のように見える。
(※)



ほ場整備（杉ノ下工区）
2021年度完了予定。47ha。
2017年から「南三陸ねぎ」の作付けが開始。

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
2019年3月オープン。
震災遺構（気仙沼向洋高校旧校舎）と伝承館を併設した施設。津波の脅威を伝える映像シアターや語り部活動を行う講話室等を備える。



防災集団移転（大谷地区）
2016年6月完成。40戸。
災害公営住宅（大谷地区）
2016年9月完成。72戸。

気仙沼向洋高校（新校舎）
2018年7月供用開始。
水産業の発展と振興に寄与する人材育成に取り組んできた学校。
被災した旧校舎は震災遺構に。

防災集団移転（階上長磯浜地区）
2015年9月完成。64戸。

災害公営住宅（階上地区）
長磯浜南 2015年3月完成。20戸。
長磯浜北 2015年7月完成。56戸。
長磯原 2016年6月完成。18戸。
森前林 2016年9月完成。12戸。

2020年3月撮影

2020/3/19 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、※は東北地方整備局HPから引用。その他は復興庁撮影

空から見る復興⑤ 南三陸町 志津川地区



空から見る復興⑤ 南三陸町 志津川地区



2016年4月撮影



三陸沿岸道路志津川IC
2016年10月供用開始。
仙台市から約1時間、
さんさん商店街まで約5分。

南三陸さんさん商店街
2017年3月にオープンした本設商店街。
隈研吾氏が設計。
飲食・菓子・鮮魚・産直など
28事業者が出店。(※)

生涯学習センター
2019年4月オープン
公民館と図書館を併せ持
つ施設。南三陸町産の杉
をふだんに使用。

防災集団移転(西地区) 2ha
2016年11月完成。70区画。
災害公営住宅
2016年11月完成。82戸。

防災集団移転(中央地区) 16ha
2016年12月完成。135区画。
災害公営住宅
2017年3月完成。147戸。



震災復興祈念公園
2020年10月に全面開園。
犠牲者を悼み、その記憶
と教訓を風化させること
なく次の代へ受け継ぐ公
園。旧防災対策庁舎を震
災遺構として保存。



高野会館(震災伝承施設)
当時の地上レベルや津
波浸水高を実感でき、
屋上からは南三陸町の
復興状況を一望できる。
(※※)



防潮堤
2021年度完成予定。
高さT.P.8.7m、
延長320m。

防潮堤
2020年5月完成。
高さT.P.8.7m、延長350m。

防災集団移転(東地区) 25ha
2016年10月完成。140区画。
災害公営住宅
2017年1月完成。265戸。

結の里
2018年4月開所。町社会福祉
協議会が実施する高齢者デ
ィサービスや見守り、介護予防、
子育て支援などの拠点施設。



中橋
2020年10月完成。
観光・交流拠点と祈念
公園とを結ぶ歩道橋。
延長約80m。



土地区画整理(志津川地区) 60ha
2021年3月完了。
防潮堤や河川堤防(T.P.=8.7m)と
調和する高さまでかさ上げ。

南三陸町地方卸売市場
2016年6月完成。2018年1月優良
衛生品質管理市場・漁港認定
取得。水揚量は約7トン(2018年)。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co. Ltd.

(注) キャプション写真は、※は南三陸町観光協会HPから、※※は東北地方整備局HPから引用。その他は自治体HP又は復興庁撮影

空から見る復興⑥ 南三陸町 戸倉地区



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

戸倉地区子育て支援拠点施設
2016年1月完成。
子育て支援センター、放課後児童クラブ、戸倉保育所からなる施設。



防災集団移転（西戸・折立・水戸辺・在郷地区 西戸団地）
2015年3月完成。7戸。

ほ場整備（西戸川工区）
2021年度完了予定。30ha。
2015年営農開始。



防災集団移転（西戸・折立・水戸辺・在郷地区 戸倉団地）
2016年3月完成。84戸。
災害公営住宅
2016年2月完成。80戸。

防潮堤
2021年3月完成。
高さT.P.8.7m。延長220m。

防潮堤
2021年度完成予定。
高さT.P.8.7m。延長540m。

海のビジターセンター
2016年11月オープン。
三陸復興国立公園や周辺の自然の情報を発信。（※）



南三陸町自然環境活用センター
2019年11月完成。
恵まれた自然環境を活用し、人材育成や交流人口の増加を図り地域の活動につなげていく交流拠点。ラムサール条約登録湿地「志津川湾」での地域資源の発掘と調査・研究も実施。



2.7km先

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は、※は東北地方環境事務所HPから引用。その他は自治体から提供又は復興庁撮影

空から見る復興⑦ 女川町 出島



2014年3月撮影

2014/3/12 Asia Air Survey Co.,Ltd.

防災集団移転（出島）
2014年2月完成。1戸。
災害公営住宅
2014年8月完成。24戸。



防災集団移転（寺間）
2015年5月完成。1戸。
災害公営住宅
2015年12月完成。6戸。

寺間漁港

県道出島線

出島架橋
2024年度完成予定。
事業延長2,920m（橋梁部分360m）。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

（注）キャプション写真は復興庁撮影

空から見る復興⑧ 女川町 女川地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co.,Ltd.

宿泊村「エルファロ」
2017年8月移転オープン。
40台のトレーラーハウスを活用、最大195名が宿泊可能。

女川駅（女川温泉ゆぽっぽ）
2015年3月新駅舎にて再開
駅舎に温泉施設「女川温泉ゆぽっぽ」を併設。
石巻駅からJR石巻線で26分。

「いのちの石碑」プロジェクト
2013年に当時の中学生たちが開始。
町内21の浜に石碑を立て、津波の
記憶と教訓を伝承するもの。
2021年3月現在、19の石碑が完成。



女川町新庁舎
2018年10月供用開始。
・役場庁舎
・生涯学習センター
（ホール、研修室、図書室）
・保健センター
（保健指導室、調理実習室、栄養指導室）
・子育て支援センター
（プレイルーム、一時預かりスペース）



駅前商業エリア
・シーバルピア女川 2015年12月オープン。
小売店や飲食店、工房などが並ぶテナント
型商業施設。
・まちなか交流館 2015年12月供用開始。
150人収容のホールや音楽スタジオを備える多目的ホール。
・地元市場「ハマテラス」 2016年12月オープン。
鮮魚や水産加工品などの特産品の販売や飲食メニューの
提供など、「海」をコンセプトに8店舗が出店。
・2018年度都市景観大賞「都市空間部門」国土交通大臣賞
（最高賞）、2018年アジア都市景観賞受賞。
・土木学会デザイン賞2019「最優秀賞」受賞。



女川小・中学校
2020年8月供用開始。
合築施設一体型の小中一貫教育校。

冷凍冷蔵施設「マスカー」
2012年10月稼働開始。
冷蔵6,000トン、冷凍50トン。
カタール国の支援を受けて建設。

震災遺構(旧女川交番)
2020年2月公開。
津波で倒壊した状態のまま
保存。周辺で女川町
海岸広場の整備も進む。



女川スーパー「おんまえや」
2020年3月オープン。
被災した町内唯一のスーパー
が9年ぶりに本設再開。

女川町地方卸売市場
東・中央・西の3つの荷捌場を
順次整備し、2017年完成。
管理棟には食堂もあり。



離島航路ターミナル
2019年7月完成。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用、自治体から提供又は復興庁撮影

空から見る復興⑨ 石巻市 新蛇田地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co., Ltd.



復興公営住宅（A街区）
2015年3月 20戸完成
2016年3月 73戸完成



土地区画整理（新蛇田地区）
2017年度完了。46.5ha。計画人口3,300人。
計画戸数1,265戸（戸建730・復興公営535）。
2016年度 都市景観大賞（都市空間部門）「特別賞」受賞。

復興公営住宅（E街区）
2015年3月完成。43戸。

復興公営住宅（F街区）
2015年3月完成。59戸。



復興公営住宅（B街区）
2015年7月完成。59戸。

復興公営住宅（G街区）
2015年3月完成。80戸。

イオン石巻店

蛇田中学校

石巻河南 I C
仙台市から約50分。

復興公営住宅（C街区）
2015年7月完成。121戸。

復興公営住宅（D街区）
2016年3月完成。80戸。

復興公営住宅（A地区）
2016年1月完成。207戸。

宮城県
石巻合同庁舎

近隣公園

JAIのまき

土地区画整理（新蛇田南第二地区）
2018年度完了。13.7ha。

土地区画整理（新蛇田南地区）
2018年度完了。27.4ha。
計画人口1,990人。
計画戸数765戸（戸建376・復興公営389）。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑩ 石巻市 魚町地区、南浜・新門脇地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.

津波復興拠点整備（石巻駅周辺地区）

- ・防災センター 2018年3月完成。
- ・歩行者デッキ 2019年4月完成。
- ・にぎわい交流広場 2020年1月完成。
- ・ささえあいセンター 2020年3月完成。

市街地再開発（立町二丁目5番地区）

2016年度完成。

市街地再開発（中央三丁目1番地区）

2015年度完成。

内海橋

2020年9月完成。

いしのまき元気いちば

2017年6月オープン。

新鮮な魚介類をはじめ、味自慢の水産加工品や地場産品を販売。2階の食堂では旧北上川河畔の風景を眺めることもできる。近隣に立体駐車場も完備。



幼稚園・保育所等複合化・多機能化（湊こども園・みなと荘）

2015年3月完成。

市街地再開発（中央一丁目14・15番地区）

2016年度完成。

石巻かわみなと大橋

2021年度完成予定。

水産加工団地

魚市場や水産加工業・冷蔵倉庫の復旧も進んでいる。

土地区画整理（新門脇地区）

2018年度完了。
計画人口1,070人。
復興公営住宅150戸・宅地250戸。

防潮堤（雲雀野・工業港付近）

2020年度末完成予定。
高さT.P.3.5m、7.2m、
延長約17km（東松島市域を含む）。

石巻南浜津波復興祈念公園

2021年3月開園。約38.8ha。
県内でも甚大な被害のあった南浜・門脇地区にて、国・宮城県・石巻市が連携し、震災復興祈念施設（式典広場等）、市民活動に適した広場等の整備を行う。



震災遺構（旧門脇小学校）

2021年度整備完了予定。
震災の事実と教訓、復旧・復興への思いをすべての人々へ伝え続けるため、祈念公園や日和山を含めた「震災伝承エリア」の主要施設と位置づけ、部分保存。



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑪

石巻市

鮎川浜地区



2014年3月撮影

2014/3/11 Asia Air Survey Co.,Ltd.



**防災集団移転（熊野公営）
復興公営住宅**
2016年12月入居開始。12戸。

**防災集団移転（寺前公営）
復興公営住宅**
2016年7月入居開始。6戸。

**防災集団移転（黒崎）
復興公営住宅**
2017年6月完成。2区画。
2017年12月入居開始。9戸。

防災集団移転（鮎川清崎）
2015年11月完成。13区画。

女川消防署牡鹿出張所
2015年11月供用開始。

**防災集団移転（清崎公営）
復興公営住宅**
2017年1月入居開始。18戸。

石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
2016年4月供用開始。
震災前は別棟だった市場と
製氷冷蔵庫を合築、活魚の
鮮度保持を向上。

防潮堤
2021年度完成予定。
高さT.P.6.0m、延長897.9m。

鮎川浜地区拠点エリア（ホエールタウンおしか）

- ・観光物産交流施設（Cottu こっつ）
2019年10月オープン。
金華山や網地島、田代島への航路の玄関口。
飲食店、土産店、航路会社、インフォメーション
コーナーあり。
- ・牡鹿半島ビジターセンター
2019年10月オープン。
エリアの自然環境や自然と共に生きる人々の暮らしを紹介。
- ・おしかホエールランド
2020年7月オープン。
捕鯨のまちとして栄えてきた牡鹿半島の文化を紹介。

2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co.,Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影

空から見る復興⑫ 東松島市 野蒜・東名地区



2014年3月撮影

2014/3/14 Asia Air Survey Co., Ltd.

鳴瀬未来中学校
2018年1月供用開始。
(2013年4月に鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校が統合して誕生)

防災集団移転（野蒜北部丘陵団地）
2016年11月完成。91.5ha。277区画。
災害公営住宅
2017年6月入居開始。170戸。

野蒜地区津波防災拠点施設（野蒜市民センター・観光物産交流センター）
2016年11月供用開始。
地元産品の販売のほか、観光情報コーナーを設置。



JR仙石線移設
2015年5月運転再開。
野蒜北部丘陵団地内に2駅（野蒜駅・東名駅）設置。

復興の森
C.W.ニコル氏が手がけたもので、宮野森小学校校舎背後の山林約10haにツリーハウスや展望デッキ等を整備し、自然と触れ合う場として再生。

宮野森小学校
2017年1月供用開始。
(2016年4月野蒜小学校と宮戸小学校が統合して誕生)

防潮堤（東名海岸～大東海岸）
高さT.P.4.3m、延長3,986m。

奥松島運動公園
現在整備中。
マレットゴルフ場、体育館、テニスコート、野球場、多目的グラウンド、子ども広場等を整備予定。

東松島市東日本大震災復興祈念公園
・震災復興伝承館
2016年10月オープン。
旧野蒜駅舎を展示施設として活用。
・震災遺構（旧野蒜駅プラットフォーム）
震災の記憶と教訓の後世への伝承、防災意識の醸成。
・祈念広場
2017年11月供用開始。
追悼及び鎮魂の場として、また、震災の記憶と教訓を広く後世に伝え、鎮魂の想いと共に生きる大切さを分かち合う場として設置。



防潮堤（大曲海岸～洲崎海岸）
高さT.P.7.2m、延長9,235m。

防災体験型宿泊施設（KIBOTCHA : キボッチャ）
2018年7月オープン。
被災した旧野蒜小学校を改修した、遊んで学べる防災体験施設。
避難所としての機能に加え、地域活性化に資するため食堂や宿泊施設等も備える。



2020年3月撮影

2020/3/18 Asia Air Survey Co., Ltd.

(注) キャプション写真は、自治体HPから引用又は復興庁撮影